

「授産製品」魅力 UP プロジェクト デザインワークショップ2

事業報告書

「授産製品」魅力 UP プロジェクト デザインワークショップ2

主 催：豊中市

企画協力：特定非営利活動法人WiD

協力団体：社会福祉法人和 生活介護NAGOMI

学校法人瓜生山学園 京都芸術大学 こども芸術学科

●はじめに

この「授産製品」魅力アッププロジェクトが始まったのは、本市の職員が奈良市にある「たんぼぼの家」を視察に訪れた際に、芸術大学出身者を中心としたスタッフの方々と施設の利用者の皆さんがすばらしい芸術作品をたくさん生み出されている様子に感動し、本市でも何かできないか、と考えたことがきっかけです。当時、本市の文化芸術推進基本計画の策定を進めており、その推進プログラムの一つ「文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進」において、福祉や教育、産業などの施策との有機的な連携を図ることにより、新たな社会的・経済的価値を生み出すことと掲げていたことから、その取り組みに位置付けて、試行的に取り組みを進めることとしました。

初年度にあたる令和3年度はオンラインセミナーを開催し、豊中市内からワークセンターとよなか、豊中市外からたんぼぼの家と、それぞれ実例を紹介してもらいながら、障害者施設で作られる授産製品のデザインや、販路の確保から流通にいたるまで様々なお話をしていただき市内外問わず多くの方にご参加いただきました（「過去の取り組み」にアーカイブ映像URLを掲載）。

令和4年度は実際にアートの力を活かして授産製品の魅力を向上し、売上アップをめざすため、市内事業所1か所を対象にデザインワークショップを実施いたしました。

令和5年度は新たに社会福祉法人和にご協力いただき、昨年度と同様にデザインワークショップを実施しました。昨年度は広告のデザインを見直すことで売り上げアップを図りましたが今回は聞き取りの中で、製品のデザイン自体を見直すこととなったため、学校法人瓜生山学園京都芸術大学のこども芸術学科こども芸術コースの皆さまにご協力いただき、デザイン面でのアドバイスをいただきました。いずれの取り組みも、特定非営利活動法人WiD理事長の西脇様に企画していただきました。改めて深くお礼を申し上げます。

今後も引き続き市内の障害者施設で作られる「授産製品」を、どのように魅力的に仕上げ、発信していくことができるのか、市内関係団体と積極的に協力し、試行錯誤を重ねながら取り組みを進めてまいります。

【豊中市 都市活力部 魅力文化創造課】

● 実施概要

<u>第 1 回</u>	日 時 : 2023 年 9 月 4 日 (月) 17:30 - 19:00 会 場 : 生活介護NAGOMI 参加人数 : 9 名 内 容 : 事前アンケートに基づくヒアリング
<u>第 2 回</u>	日 時 : 2023 年 10 月 13 日 (金) 14:50 - 16:10 会 場 : 京都芸術大学 至誠館 S61 (Zoom) 参加人数 : 9 名 内 容 : ヒアリング内容の共有
<u>第 3 回</u>	日 時 : 2023 年 11 月 8 日 (水) 15:00 - 16:00 会 場 : 生活介護NAGOMI 参加人数 : 13 名 内 容 : 施設見学と方向性の擦り合わせ
<u>第 4 回</u>	日 時 : 2023 年 12 月 20 日 (水) 13:30 - 14:30 会 場 : 京都芸術大学 地心館 E12 (Zoom) 参加人数 : 11 名 内 容 : デザイン案の中間発表
<u>第 5 回</u>	日 時 : 2024 年 1 月 17 日 (水) 13:30 - 15:00 会 場 : 京都芸術大学 地心館 E12 参加人数 : 12 名 内 容 : デザイン案の最終発表

● 実施総括

事前アンケートの集計結果をもとに、本ワークショップを通して魅力アップを図るポイントを「既存グッズ（クッキー）の見せ方」に絞りました。第1回のワークショップでは「新型コロナウイルスの影響」「主な販売場所・販売の機会」「広報媒体」「授産製品ラインナップ」といった観点から現況のヒアリングをおこない、第2回のワークショップではそれらのヒアリング内容を学生有志の皆さんと共有しました。第3回のワークショップではNAGOMIの施設見学を実施。方向性の擦り合わせをおこない「セット販売時の包装のリニューアル」と「セット販売時に同梱するリーフレットの新規作成」を具体的目標として設定しました。

第4回のワークショップまでの1か月間は制作に充て、その間にも制作に必要な情報や素材のやり取りが流動的におこなわれました。中間発表となった第4回のワークショップでは船本和花子さんと中村紗良さんのペア、松山明日香さんと和田舞花さんのペアからそれぞれデザイン案のプレゼンテーションがおこなわれました。包装に使用する帯、リーフレットともに複数の案が挙げられ、それらに対し意見交換がなされました。デザイン案の絞り込みと方向性の再確認を経て、再び1か月の期間を設定。デザインのブラッシュアップに充てました。

最終発表となった第5回のワークショップでは紙に出力したサンプルを用いてのプレゼンテーションがおこなわれ、異なるアプローチの2デザインが出揃いました（「資料1」 - 「資料4」参照）。これら2種類のデザインは次年度春から実際にクッキーのセット販売において使用され、デザインの効果については購入者からのフィードバックも踏まえて検証がなされます。

ワークショップの全日程を終えて、参加者の皆さんには「見せ方」を考え形にしていけるにあたってのイメージの共有の大切さ、難しさを体感していただくことができました。また「改めて（自事業所の）商品に対する想いやイメージを事業所内でも確認することができ、商品作りに対しての意識が高まる良いきっかけとなりました」といった感想も聞かれました。

【特定非営利活動法人WiD 西脇大祐】



● 参加者の声 NAGOMI

初めてのことで、改めてひとに伝える難しさということを実感しました。またできあがってきたものを見て、自分たちの商品のポテンシャルに気づき、現場の職員と利用者さんがリーフレットに感動しているのを見て嬉しくなりました。楽しく勉強させていただきました。

学生さんたちにどんな風に言葉にしたら伝わるのか考えながら要望を伝えました。その伝えるということがとても難しいと気づきました。そして、改めて商品に対する想いやイメージを事業所内でも確認することができ、商品作りに対しての意識が高まる良いきっかけとなりました。限られた時間の中でのやり取りでしたが、学生さんたちは私たちの「こんな風にしたい」を見事に形にしてくれたと思います。このプロジェクトでは困っているひととアイデアや技術をもっているひとがつながるととても素敵なプロジェクトだと感じました。この取り組みが広がっていくことを期待しています。

● 参加者の声 学生有志1

NAGOMI プロジェクトは大学を通してしかなかなかできない貴重な経験だと思ったので参加させていただくことにしました。プロジェクトでは、依頼を受けてクライアントと相談しながらご要望に合わせた形にしていくということを初めてしました。普段大学では誰かのためにもものを作ることはしていなかったので、沢山の意見をもとに限られた時間の中で試行錯誤しながらより良いものを作ることを最後までやり切る自信ができました。短い期間で貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。

今回のプロジェクトで私たちは、NAGOMI さんのクッキーの「美味しさ」や「やさしさ」が伝わるようなデザインを提案させていただきました。デザインについて、ひとと意見を出し合ったり、写真やイラストなどを用いてデザインのイメージを共有したりしました。それらの経験が自分への刺激になり、考え方が広がりました。また、自分で考えたことをひとに伝える機会も多く、まだ苦手ですが感じたことを言語化する練習にもなりました。これらの経験や学びを活かして、今後の活動にも取り組んでいきたいと思います。デザインされた NAGOMI さんのクッキー箱が、どうお店に並べられるのか楽しみです。NAGOMI さんのプロジェクトで、貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

● 参加者の声 学生有志2

帯やリーフレットを制作するにあたり、NAGOMI さんの素材を生かしたクッキーの味やあたたかい雰囲気大切にしながら、手に取りたいと思わせるデザインを意識して取り組みました。クッキーを購入したひとの気持ちになれるようデザインを変更するごとに印刷をして手に取って観察して改善を重ねました。制作する中で、NAGOMI さんのご希望に応えるだけでなく、自分たちのこだわりや手に取るひとが楽しくクッキーを味わえるように考えることが大切だと学びました。また、リーフレットを蛇腹にしたことで一つ一つのクッキーを見る楽しさ、比べてみる面白さがあるなど、データではなく手に取るからこそ味わえる感覚や気持ちがあることがわかりました。外部の方との事業ということもあり、期限や返信などをしっかりとしないといけないと認識しているにもかかわらず、返信が遅くなる、期限までにデータをお渡しできなかったことを反省しています。また、帯においては形や真ん中にロゴがあるデザインが変更前のものと変わっていないためもう少し帯の幅を太くする、ロゴが中央にあるデザインではないものにするなど、大幅にデザインを変えてみても面白かったのではないかと考えています。最終的に NAGOMI さんに喜んでいただけたことが何より嬉しく、形になってクッキーと共に手に取っていただけることを考えるとこれからがとても楽しみです。この経験を通して学んだことを、次の制作や学校での取り組み、社会に出てからの学びに生かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

● 参加者の声 学生有志3

今回のプロジェクトで、今まで学習してきた illustrator などのアプリやリサーチ力を活かし、より良いと思えるデザインの提案をすることができた。デザインの考案にあたって、クライアントの情報や考えているイメージ、商品の良さなど、リサーチの重要性を改めて実感した。NAGOMI さんの依頼の一つである「手に取りたいと思わせるデザイン」で私たちのペアは NAGOMI さんの大切にしている「体にいい」「素材の味」「あたたかさ」が連想されるデザインをめざした。シンプルかつ優しさ・柔らかさ・あたたかさが伝わるデザインを意識した。お店に並んだ際、利用者さんが箱を作った際、お客さまが手に取った際にどのような反応なのか楽しみだ。また、考えているイメージをより明確に伝えるために形に起こしたり、画面越しでも伝わる言葉選びが必要であることに気づいた。誰かに提案をする上で「なぜそのデザインにしたのか」「何を考えたのか」「どんな効果があるのか」などを伝えることで、考えがわかりやすいプレゼンになり、デザインの決定打になると考えた。このプロジェクトで私は学んできたことを活かし、もののデザインをするだけでなく、考えやイメージを整理し、表現することを学んだ。素敵な機会をありがとうございました。

● 参加者の声 見学者1

実際に施設の見学や職員からのヒアリングを通して課題を見つけアイデアを出し、それをまた評価しフィードバックするという、実際のデザインの現場と同じようなプロセスを通してプロジェクトが進んだことは、学生たちにとって良い経験になったと思う。また施設にとっても「もっとこうしたい」といった思いはあるが、デザインの知識やスキルなどの難しい部分もあり、これまでは実現できなかったことを、学生たちの様々なアイデアが補うことで、商品開発の幅も広がったように思う。また完成して終わりではなく、商品のパッケージが変わったことでどういった変化が見られたかの検証・評価を引き続きおこなっていくことで、客観的な良かった点や改善点などが見えてくると思う。加えて商品の追加や変更に伴った、デザインの修正・改善も考えられるので、今回作ったものを施設が継続して使っていけるように、ソフトの使い方のレクチャーなどの取り組みも必要になってくるかもしれない。また今回は難しかったかもしれないが、会議の場になかま（施設利用者）も含めて参加できるような工夫があれば、そこで関わりが生まれることで福祉についての知見も深まり、それがデザインにも反映されてくるだろうし、施設としても職員だけでなく、なかまの意見や思いを含めることができるので、双方にとってよりよい活動になってくるのではないかと思う。

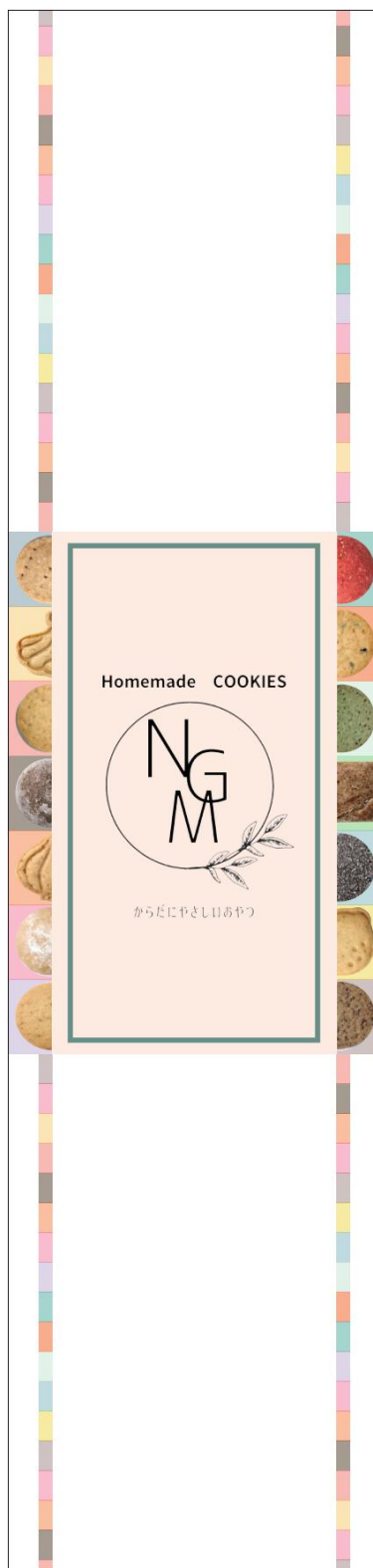
NAGOMI さんの商品自体は魅力あるものでしたので、それをどうしたらきちんと伝えられるデザインになるのかを、みんなで頭を悩ませながら考えたワークショップでした。学生の皆さんの提案されるデザインがどれもよく考えられていて、細かいデザインでもしっかりとそのデザインになった理由を説明されていたのが印象的でした。

● 参加者の声 見学者2

今年度初めて当該事業に参加させていただいた感想としまして、学生の方々の姿勢と提案内容の密度に感服いたしました。専門的な感性がない私にとっては、デザインとは受手によって印象が変わるものと思っていたので、成果は安定しないのではないかと感じておりましたが、昨年度の実績として売り上げが目に見えて増加したこと、成果がはっきり表れるのはすごいことと感じておりました。今回も、ご提案された各デザインそれぞれに考えられた理由があり、一消費者としていいなと素直に思えるものがありました。「好み」で片づけられない要素が確かにあるのだと感じました。専門知識を各事業所が必ずしも持ち合わせているとは言えないと思うので、当該事業は実利的な成果に直結し、何より事業所の皆さまにとっても嬉しい結果になることが見込める有意義な事業だと感じました。

● 資料1

船本和花子さんと中村紗良さんのペアが制作した帯デザイン



● 資料2

船本和花子さんと中村紗良さんのペアが制作したリーフレットデザイン



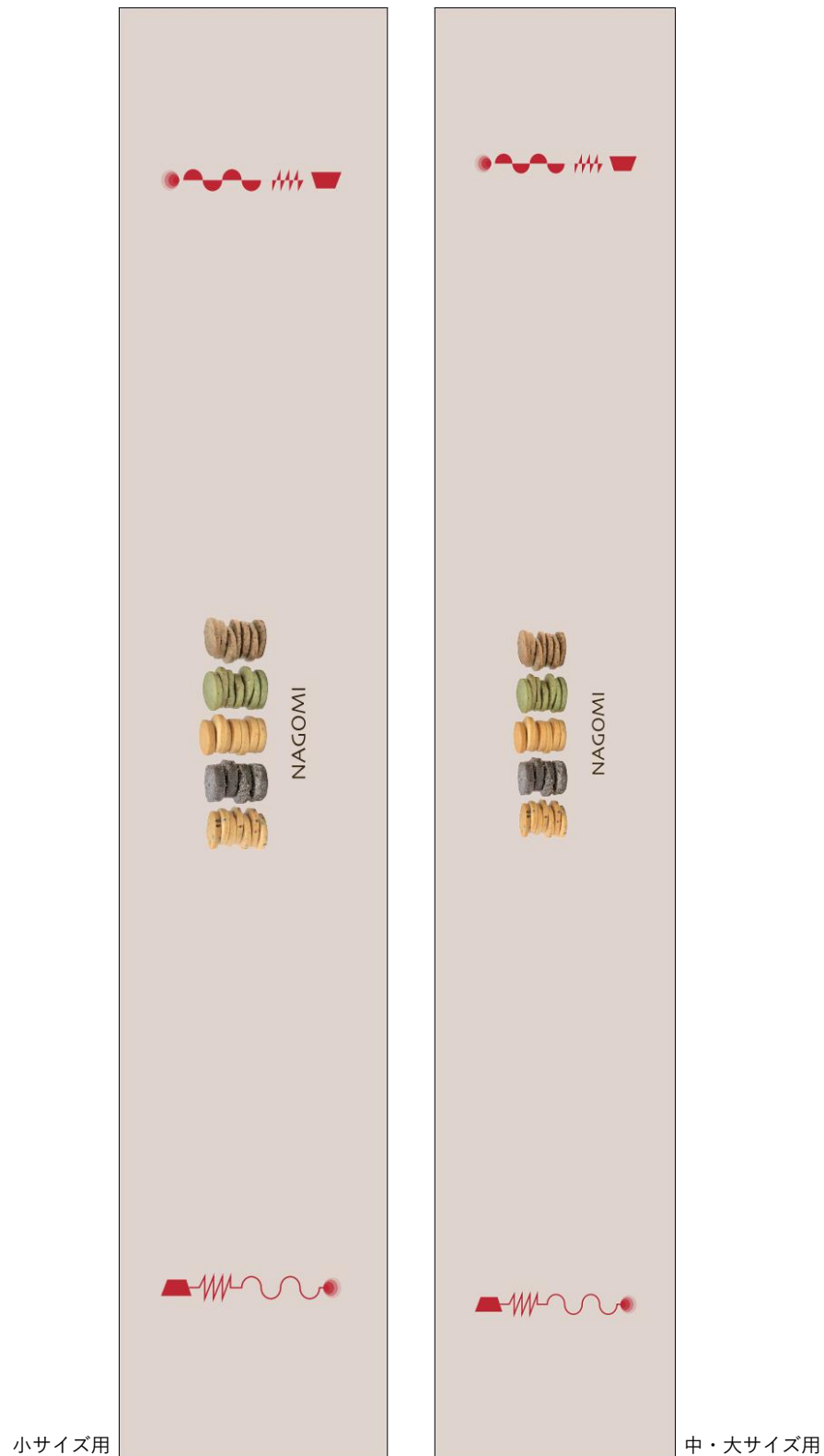
表



裏

● 資料3

松山明日香さんと和田舞花さんのペアが制作した帯デザイン



● 資料4

松山明日香さんと和田舞花さんのペアが制作したリーフレットデザイン

NAGOMI	
	プレーン 【材料】 小麦粉・バター・粗製糖・たまご 素材の味を楽しめるシンプルなクッキー。
	ごま 【材料】 小麦粉・バター・粗製糖・たまご・白ごま・黒ごま 白と黒、両方使用した風味豊かな味わいのクッキーです。
	レモン 【材料】 小麦粉・バター・粗製糖・たまご・レモン(皮・果汁) 国産れもんの皮を丁寧に刻み、生地に練り込み焼き上げました。
	ココアショート 【材料】 小麦粉・全粒粉・バター・粗製糖 グラニュー糖・ブラックココア サクサクザクザク食感でココアの入った人気なクッキーです。
	塩ショート 【材料】 小麦粉・全粒粉・バター・粗製糖・グラニュー糖・梅干し 梅干しを練り込んだこだわりの詰まったクッキーです。
	たまねぎ 【材料】 小麦粉・バター・粗製糖・たまご・玉ねぎ 玉ねぎをロースト・乾燥させ、生地に練り込みました。
	コーヒー 【材料】 小麦粉・バター・粗製糖・たまご・コーヒー豆 マンデリンという豆を使ったコーヒーの香り豊かなクッキーです。
	よもぎ 【材料】 小麦粉・バター・粗製糖・たまご・よもぎ粉 よもぎの香りと深い味わいを楽しめる身体に良いクッキー。
	やきいも 【材料】 小麦粉・バター・粗製糖・たまご・紅はるか 10月～4月の季節限定！焼き芋を皮ごと練り込みました。
	ばなな 【材料】 小麦粉・バター・粗製糖・ばなな・卵 4月～10月の季節限定！やさしい味のクッキーです。
	雑穀バー 【材料】 小麦粉・ラギン・菜種油・メイプルシロップ・塩 アーモンドプードル・いよかんピール 小腹が空いた時にぴったりのシリアルバーです。
	スノーボール 【材料】 小麦粉・バター・粗製糖・アーモンドプードル・粉糖 ほろほろサクサクの甘いクッキーです。
	スノーボールいちご 【材料】 小麦粉・バター・粗製糖・ アーモンドプードル・ストロベリーパウダー フリーズドライのいちごパウダーを使用！甘酸っぱい味わいです。
	スノーボールココア 【材料】 小麦粉・バター・粗製糖・アーモンドプードル・ 純ココア・ブラックココア・粉糖 生地にもココアを使用したほろ苦なスノーボールです。

社会福祉法人 和

〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町 2-13-1

TEL: 06-6833-0028

パッケージ・リーフレットデザイン: 京都芸術大学 京都市立芸術大学 松山 和 中村

Instagram

公式サイト

表

裏

● NAGOMI さんと、こども芸術学科学生有志とのデザインプロジェクト

この度の NAGOMI さんの手作りクッキー・包装デザインプロジェクトは、こども芸術学科の卒業生、西脇大祐さん（現在、特定非営利活動法人WiD理事長）からのお声がけで始まりました。NAGOMIさんによるクッキーの価値をより多くの皆さんに伝え、味わい楽しんでいただくことをめざすこの企画は、保育・福祉・幼児教育を専門に学ぶ3回生ゼミ学生の意欲をかき立てました。大学の教室内で身に付けた知識とスキルを応用する機会として「こども芸術」の強み～五感を使って気づく・そして相手と共に築く～というアプローチで取り組みました。

NAGOMIさんのクッキーは多種多彩ですが、まず一つ一つの持ち味を明らかにしていこうと感覚を開きながら試食、そして施設環境の視察を経て、クッキーの材料や作り方の特徴、パッケージを誰のためにどうデザインするか、クッキーを通して何を伝えていくのかを聞き取り、意見交換をしていきました。デザインの具体的な落とし込みでは、美味しさ、風味、ワクワク感、また NAGOMI さんのクッキーならではのストーリーの表し方、形や色のこだわり、大きさ、重さについて、双方向のやり取りが盛んに行われました。

このプロジェクトを通して、学生は現場の職員さん（プロフェッショナル）と共に構想するプロセスの意味や、受け手を意識しながらデザインを思考する方法を体得できました。時間が限られた集中活動でしたが、最後まで“やりきる”ことを優先に、学科の先輩（西脇さん）からのアドバイスをもとに満足のいく成果に到達いたしました。こうした体験は、学生の社会的実践的な態度を育て、個々の自信に繋がる糧になると信じています。

最後に、NAGOMI さんの施設長や職員さんと共に「こども芸術学科」の「芸術を通した保育・福祉観」を土台とした「ものづくり」にチャレンジできましたことに、深くお礼を申し上げます。また、豊中市の職員さんによる暖かなサポートに感謝いたします。学生達による2つのパッケージデザインが NAGOMI さんの手作りクッキー普及の一助となりますよう、またこのプロジェクトをきっかけに、地域社会に向けた協働活動がより活発になることを願っております。

【京都芸術大学 こども芸術学科教授 近江綾乃】

● 過去の取り組み

令和3年度に開催したオンラインセミナーのアーカイブ映像を公開しています。

「ワークセンターとよなか」におけるオリジナル陶器の商品化・発信・流通や、「Good Job! センター香芝」における最新のデジタル技術等を組み合わせた商品づくりについて、ご紹介しています。ぜひご覧ください。

「『授産製品』魅力UPプロジェクト オンラインセミナー 事例紹介①

『オリジナル陶器のこれまで』 <https://youtu.be/xhyFfuNV7GE>

登壇：河田 善次・中垣 匠人（社会福祉法人豊中きらら福祉会 ワークセンターとよなか）



「『授産製品』魅力UPプロジェクト オンラインセミナー 事例紹介②

『福祉 × デザインのものづくり』 <https://youtu.be/IpvWkAPZcSA>

登壇：藤井 克英（社会福祉法人わたぼうしの会 Good Job!センター香芝）



「授産製品」魅力 UP プロジェクト デザインワークショップ2事業報告書

発行：2024 年 3 月 31 日

発行元：特定非営利活動法人WiD

〒560-0085 大阪府豊中市上新田1-10-45

tel 06-6871-3777 fax 06-6871-3766 <https://npo-wid.com>

企画制作：西脇 大祐・菊川 浩・株橋 亮子（特定非営利活動法人WiD）

編集：西脇 大祐（特定非営利活動法人WiD）